

令和8年度 会計部事業計画

○ 重点方針に対する事業計画（具体的事業内容と時期について記入）

1 安全・安心のまちづくりの推進

- ・組長による町内会費などの集金は大変だが互いが顔見知りになるという意味では安全安心のセーフティーネットづくりになっている。

2 町内会会員及び賛助会員増のための働きかけ

- ・町内会費がどのように使われているかを会員に知ってもらい、町内会活動に対する関心をより高めてもらう。（未加入の方にも同様）
- ・賛助会員になることのメリットを具体的に示していく。

3 町内会行事等の広報活動の強化・ホームページの活用

- ・1, 2の目的を達するために、町内活動が活発であることをアピールするツールとして、広報紙かたひら、ホームページ、LINEを後押ししたい。
- ・広報紙の年間発行部数、HPへのアクセス数など賛助会員には周知を図る。

4 資源集団回収の実施・強化

- ・達成値の見える化に組していければ

5 町内会組織編成の見直し

- ・各種集金業務（会費、募金、区民祭賛助金等）の組長⇒地区長⇒会計部は効率的だが、業務が一部の係に集中しすぎていて危険。

6 地域の学校（小、中、高等学校等）並びに公共施設との交流を推進

- ・交流推進が片平会館の施設利用につながる可能性あり。

○ 会計部独自の事業計画（具体的事業内容と時期について記入）

- ・各部の事業費の会計簿を統一フォーマットにする。各部の決算報告他、会計関連の提出書類も電子ファイルで町会のサーバーで作成、保存することによって、全体業務を統括し、業務の平準化につなげていく。
- ・町内会自治会応援補助金の情報も同ファイルに掲載し、補助金の使途、申請についても各部でより主体的に判断する一助としていく。